

作成日：2020年9月30日（第4版）

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学脳神経外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成26年11月 福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座 講座主任

【研究課題名】 脳白質解剖による脳内ネットワークの研究

【研究期間】 平成26年11月～令和5年10月

【研究の意義・目的】

脳機能の局在などに関する研究が進み、医療にも広く活用されています。しかしながら、人間の意識や言語などの高次機能には脳の様々な部位が連合して働いており、そのネットワークには未解明の部分が多いのが実情です。脳標本において脳内ネットワークを構成する脳白質解剖を研究することで、脳機能の解明および新規治療法の開発につながっていくことが期待されます。

【研究の対象となる方】

本学に献体をご提供いただいた方

【研究の方法】

神経解剖・発生学講座にて、ホルマリン固定された献体より脳を摘出し、凍結処理を行って脳白質の線維を明瞭化します。処理を施された脳にて言語や意識などの高次脳機能に関与する白質線維を観察し既知の線維の解剖を更に詳細に調べるとともに、まだ研究が進んでいない線維の探索を行います。

また本研究のために使用する献体情報は全て匿名化されます。白質解剖の画像データは、それぞれの研究場所の施錠した保管庫に保管します。データを保管するコンピューターは、他のコンピューターから切り離されたものを使用します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	(所属)	脳神経外科学講座	(職)	主任教授	(氏名)	齋藤 清
主任研究者	(所属)	脳神経外科学講座	(職)	准教授	(氏名)	藤井正純
研究分担者	(所属)	神経解剖・発生学講座	(職)	教授	(氏名)	八木沼洋行
		脳神経外科学講座	(職)	准教授	(氏名)	市川優寛
		脳神経外科学講座	(職)	講師	(氏名)	岩楯兼尚

【人体から採取された試料等の利用について】

この研究ではご提供者様の献体脳を提供いただき使用します。取扱いについては、研究終了まで厳重に保管いたします。なお、将来、試料・情報を他の研究に用いる場合は、改めてその研究計画書を倫理委員会において承認をうけた上で利用します。

【他の機関等への試料等の提供について】

本研究では行いません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座 担当 藤井正純

電話:024-547-1268 FAX:024-548-1803

E-mail:neuro-s@fmu.ac.jp